

県中地方のH25年7～8月豪雨の状況について

県中管内では、7月23日～8月6日の2週間の間に、三度に渡る豪雨に見舞われ、公共土木施設、農地等に多くの被害を受けました。

今回の降雨は、①総雨量の大半が2～3時間に集中した。

②短期間に複数回の豪雨が管内全域を襲った。

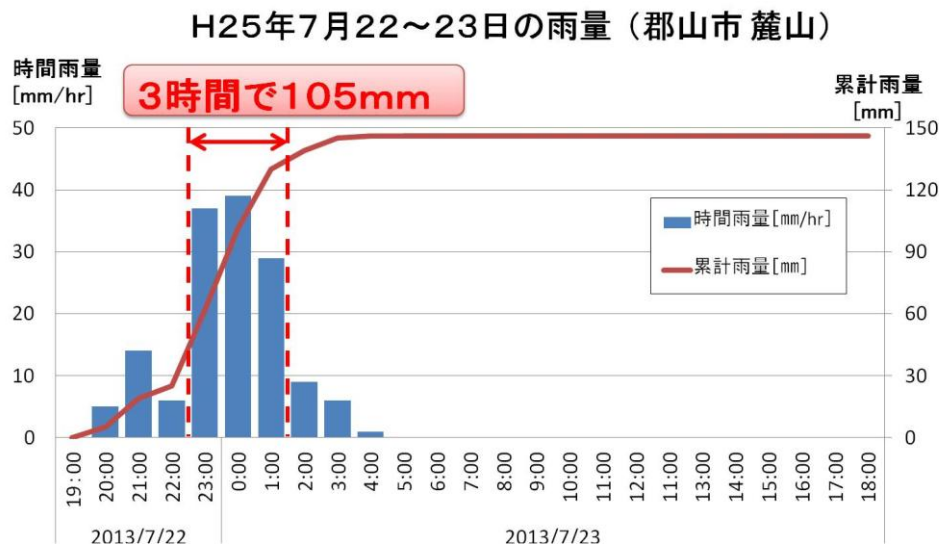
③そのほとんどが50mm/h相当以上のゲリラ豪雨。

といった特徴であったため、急激な河川の増水を引き起こし、被害を大きくしました。また、総雨量も7～8月の平均降水量の1.5倍、昨年（H24年）の2倍を示す非常に大きなものでありました。

今後は、被災した施設の早急な復旧と、安全対策の確保を目指し、緊急性・危険性の高いものから迅速に対策を進めてまいります。

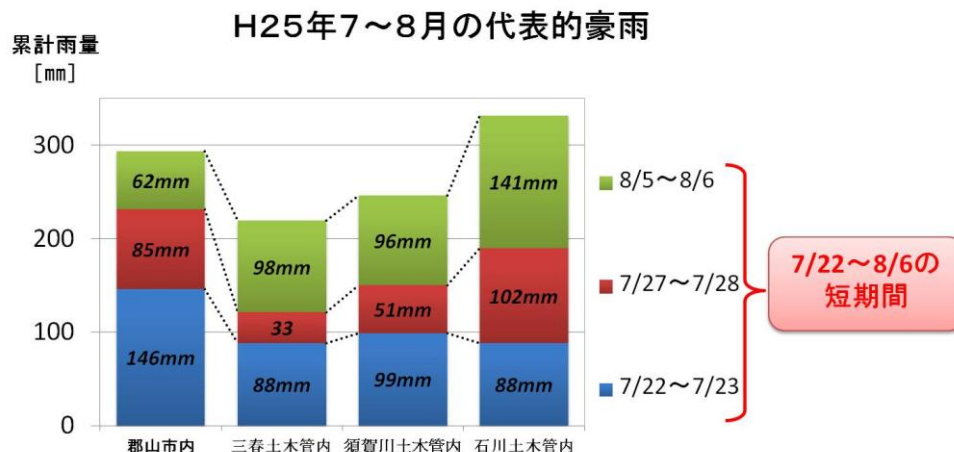
今回の降雨の特徴

○短時間に大量の雨が降った。（総雨量の大半が2～3時間に集中した。）

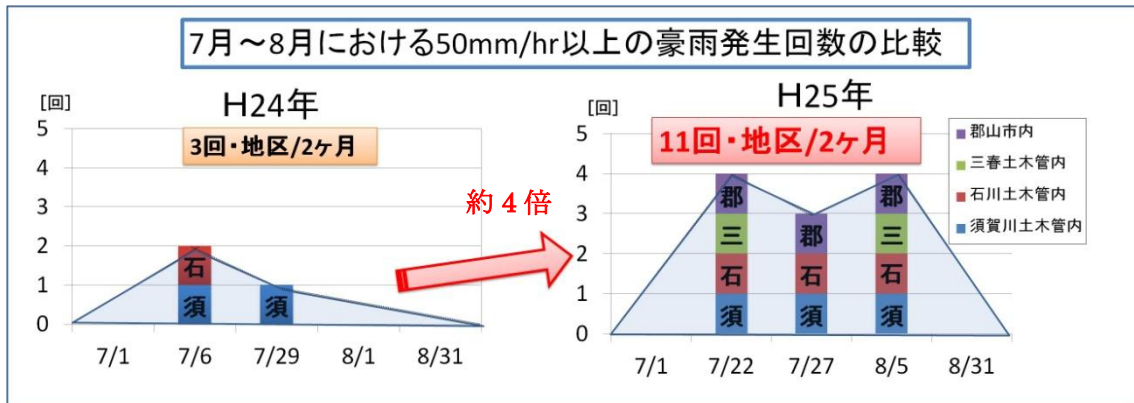


○短期間に複数回の豪雨が管内全域を襲った。

- ・ 2週間（7月23日～8月6日）で5回の警報、3回の豪雨。



○しかも、そのほとんどが50mm/h相当以上のゲリラ豪雨。



○7～8月の総降水量が平年の1.5倍。昨年（H24年）の2倍。

